



中野市長室に活動を報告する(右から)小野さんと名倉さん＝市役所で

鍵盤ハーモニカ 比の児童に寄贈

文化芸大生ら報告

フィリピンの子どもたち

に中古の鍵盤ハーモニカを届けている静岡文化芸術大生らのボランティア団体「HANDS(ハnz)」のメンバー2人が、浜松市役所を訪問し、中野祐介市長に活動を報告した。

ハnzは毎年、市内の小中学校の協力や市民らからの寄付でハーモニカを集めて清掃し、ダバオ市の学校に届けている。2月にも同市を1週間訪れ、約1000台を寄贈した。現地の小学

校と浜松市南の星小(中央区西島町)をビデオ通話でつなぎ、ハーモニカで合同演奏会を開くなど国際交流を楽しんだ。

文化政策学部1年のメンバー小野由利菜さん(19)は「仲良くなった友達とピクニックに行くなど、笑顔であふれた1週間だった」と振り返り、名倉愛華さん(19)は「浜松とダバオを笑顔でつなげたい」と意気込みを語った。

4月19、20日には浜松市市民協働センター(中央区中央)で、フィリピンでの活動を紹介する写真展を開く。(戸田稔理)